

あの頃の津山

皇太子行啓時の今津屋橋(大正15年)

写真提供・江見写真館



現在の今津屋橋周辺

写真は、大正15年に当時の皇太子・裕仁親王(後の昭和天皇)が津山を行啓された際の様子と思われ、今津屋橋から船頭町の方へ向けて写されたもので、写真右下には橋の欄干が写っています。

この行啓は、岡山・広島・山口県を視察したもので、津山では、鶴山公園や旧制津山中学校(現在の津山高등학교)などへ立ち寄り寄られました。

津山への行程は、横須賀から軍艦日向に乗船され、2日かけて宇野港へ到着されました。岡山市内を視察した後、中国鉄道(現在のJR津山線)で移動され、津山駅からは自動車を使って回られたようです。

写真中央には、石油久世荒物店と書かれた上り旗や日下洋服店の看板が見え、往時の商店街の賑わいが伺えます。また、「奉迎」と書かれた歓迎の門があり、道の両脇の家には国旗がたなびいています。道には数人の警官が立ち、物々しい雰囲気伝わってきます。しかしまだ、皇太子の到着まで時間があるのか、沿道の人はまばらで、通りには荷物を運びリヤカーの列が見えます。

裕仁親王の津山での滞在時間は、1時間30分余りと短かったのですが、歓迎の準備を整え、皇太子の訪問を待ちわびているまちの様子を写した一枚です。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

閩津山郷土博物館

☎22・4567

今月の表紙

新年を彩るひつじたち
津山民芸社(田町)



昨年、ついに30歳代に突入した。30歳の誕生日、叔父からの一言「次の10年を見据えてしっかり学ぼう」と。40歳になった時、どのような自分でいたい。しっかりと考えておかないと、やみくもに日が経つばかり。10年後は長女が中学生になっている。娘に負けないよう、わたしも成長したい。(W)

正月に食べるお雑煮の味付は、地域や各家庭で違うようです。私の家は、すまし汁仕立てです。毎日同じ味は飽きるもので、今年は違う味に挑戦してみたいです。12月号の交流通信のコーナーで宮古島の中身汁を取材したので今年の正月はこれに挑戦してみようと思います。どんな味が楽しみです。(雨)

皆さんは、初詣で何を願掛けしましたか。今年の干支・羊は群れを成すことから家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らす事を意味しているそうです。海外では、紛争などが後を絶ちません。わたしは、世界や日本、そして、何より我が家が平和でありますようにと願う手を合わせました。(修)

編集・発行(毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページ

☆津山市のフェイスブックはこちら
<http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



津山市フェイスブック



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください